

(「一寸先は光です」)

校長だより

平成29年7月20日(木)

第10号

「我が子を入れたくなる学校をつくりたい」(初代校長)

那覇西高等学校長 長濱 雅仁

夏休み期間、進路自習室、図書館他(情熱発電所)「ドリームキャナル」開放です!

期末考査が終わり、早朝から各ホール、進路自習室、図書館等で懸命に勉強する姿が見られるようになりました。この調子で夏休みに突入してほしいものです。隣校のN高校で講演した東大出の講師が語ったところによると「東大に合格する生徒は3年で引退しない。卒業式の最後まで頑張る」そうです!

◎生徒会長選挙結果：壽龍之介君(2-1)が釣谷莉菜さん(3-4)後の生徒会長に選出されました。

眞喜志鈴さん(2-7)との得票差はわずか5票という僅差でした。小濱拓斗君(2-3)含め、3名の立候補演説は愛校心が旺盛で意欲的でした。離任される釣谷さんの退任の挨拶も一言一言に思いが伝わってきました。後日、釣谷さんが、体育館の廊下で先輩として壽君に助言している場面があり、感動しました!

◆大会・コンクール等結果

・水球部準優勝!(九州高校総体:於大分県:7月8日~10日)

創部7年目で初の全国総合体育大会の出場権を見事獲得しました。目指せ!全国制覇。㊗!

・水泳部は九州水泳大会(於長崎市民プール:14~18日)に参加しましたが、決勝進出はならず!

・23日(金)高校野球 VS 豊見城高校 於コナテック球場 0-10(5回コールド)残念ながら一回戦敗退でした。しかし、日々の練習に黙々と打ち込む姿勢、誠実な挨拶は「チーム那覇西」の^{かなめ}要的存在です。球場に足を運んでいただいた保護者、多くの先生方、仲間達、OB等「チーム那覇西」の真っ赤な充血した目が全てを物語っていました。「負けたら終わりではない。諦めたら全ては終わるのです」

・陸上競技の九州大会で本校は昨年の13種目を上回る15種目で全国大会の出場権を獲得しました。

・7月22日(土)吹奏楽部が11:15沖縄コンベンションセンターでコンクールに出場します。頑張れ!

○校内外の小さな変化・成果に気がついたでしょうか?「チーム那覇西」は今も躍動しています!

・3階2学年掲示板に笹の葉に結ばれた「願い事プレート」は読む価値が充分あります。自身の将来の夢はもとより、チームの目標、「芙希先生が幸せになりますように」「校長先生が長生き・・・」㊗!

・試験休みの先週、女子ハンドボール部がセミナーハウスで早朝6時より「早朝学習」に励んでいました。合掌!

・図書館便り2号、美化だより7号、保健便り、生徒指導便り発行しています!要熟読ですよ。

◆◆◆◆◆◆◆ 高校総体終了!これまで積み上げてきたものは何? ◆◆◆◆◆◆◆

「今昔物語」1996年、吉茂先生の講話より

京都大学、シカゴ大学を出て、沖縄の禅の世界では知らない人はいないという名伯楽の吉茂氏が本校で講演をなさったのは、1996年のことでした。その内容はあまりにも鮮烈で今でも記憶に残っています。その概要をお話したいと思います。「1995年3月20日、地下鉄サリン事件が起きました。死者は13名、負傷者は6,300名に上りました。指示したのはカルト教団の松本(教祖)でしたが、その指示に従ったのがHでした。彼は、なんと東大出でのドクターだったのです。その彼の靴に常に入っていたものは「ミヅ」のみでした。講師の吉氏は、「読書の大切さ」を訴え、「読書で行間を読むことから人間性、人との繋がりや感受性、命の尊さ等を学ぶのだ。」と話されていました。もう一つは、「質屋」の修行についてでした。5年以上本物を見続けること。その修行によって、その物の価値がわかるようになる。私たちも多くの人間と触れ合い、興味を持ち、繋がり続けることによっていつしか人を見抜く力が醸成される。Hは人を見抜く力が備わっていなかった。だから松本を本物と信じ、ついて行った結果、手先となり、重い罪を犯した。出会い、触れ合い、語り合い、繋がりを大切にしてほしいというのが氏の教えでした。目指せ、本物!!